

今週（7月11日から7月15日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場、無担保コールO/N物は、積み期終盤となり14日までは大手行主導で取り上がる動きが見られ、レート水準は全般的に高止まりとなった。レート目線は、邦銀業態の調達を中心に▲0.01～▲0.003%程度での推移となった。15日は、積み最終日であると同時に、新しい積み期にかかる取引となる事から、前日までに比べレート目線はやや低下したものの、邦銀業態の調達を中心に▲0.02～▲0.008%での出会いとなった。加重平均レートは、11～14日は▲0.01～▲0.007%での推移となった。

ターム物は、新積み期スタートとなるショートターム物で、▲0.03%前後での出会いが見られた。

日銀当座預金残高は、週初548兆円程度であったが、13日の源泉税揚げ等の影響を受け543兆円程度に減少した。その後は、各種金融調節等を受け545兆円前後での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、出会い水準は概ね▲0.200～▲0.080%程度と幅広いレンジでの取引となった。

SCIは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、先週8日の3M物の入札がしっかりとした結果だったことを受け、全ゾーンで堅調に推移した。15日の3M物(1094回債)入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。

短国買入オペは、12日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、平均落札利回り較差、全取り利回り較差ともに0%としっかりとした結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、15日、20日の五・十日発行を中心に幅広い銘柄が発行を実施し、電機・石油・鉄鋼等からは大型発行も見られた。週間償還総額7,500億円程度に対して、週間発行総額は1兆2,900億円弱となる大幅な発行超となった。市場残高は、27兆円弱から27兆円台半ばでの推移となり、期明けから2週間程度で早くも過去最高水準に迫る勢いで拡大している。発行レートに関しては、0%付近での決着も見られている一方で、日銀適格銘柄であっても若干のプラス圏での決着となる動きも観測された。発行市場残高の増加や金利上昇への警戒感等から、全体的に目線を切り上げる動きが散見された。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/11 (月)	26,812.30	0.240	136.45	△ 0.010	△ 0.163	5,479,300
7/12 (火)	26,336.66	0.240	137.15	△ 0.008	△ 0.159	5,470,400
7/13 (水)	26,478.77	0.230	137.12	△ 0.007	△ 0.173	5,429,200
7/14 (木)	26,643.39	0.230	138.00	△ 0.007	△ 0.102	5,443,300
7/15 (金)	26,788.47	0.230	138.90	△ 0.014	△ 0.101	5,444,800

来週（7月19日から7月22日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/18 (月)	海の日				
7/19 (火)		TB1Y 35,000億円 7/20発行			6月の米住宅着工件数 6月のユーロ圏消費者物価指数改定値
7/20 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00～)	TB6M 24,000億円 7/25発行	流動性供給 5,000億円 7/21発行		6月の米中古住宅販売 6月の英消費者物価指数
7/21 (木)	6月の貿易統計(財務省 8:50) 日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望				ECB定例理事会(金融政策発表)
7/22 (金)	6月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 56,000億円 7/25発行	流動性供給 5,000億円 7/25発行	交付税借入 12,000億円 8/2借入	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/18 (月)	海の日								
7/19 (火)	900	6,800	7,700	CP買入 国債補完	▲ 200 9,400		9,200	16,900	TB3M発行▲56000償還55000
7/20 (水)	▲ 1,000	▲ 2,300	▲ 3,300	全店共通	▲ 3,100		▲ 3,100	▲ 6,400	TB1Y発行▲35000償還34500 交付税借入▲13000期日11000 エネルギー借入▲7800期日8000
7/21 (木)	▲ 500	▲ 5,000	▲ 5,500	社債買入		1,000	1,000	▲ 4,500	流動性供給▲5000
7/22 (金)	▲ 1,000	4,000	3,000				0	3,000	
週間合計	▲ 1,600	3,500	1,900	—	6,100	1,000	7,100	9,000	

7/19は日銀予想、7/20以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新しい積み期間となり、レート目線は一旦低下する事が見込まれるが、邦銀業態の調達ニーズは比較的強い為、底堅い展開が見込まれる。レボ市場は、新しい積み期間における資金ニーズが注目される。

短国市場は、19日に1Y物、20日に6M物、22日に3M物の入札実施が予定されている。また、短国買入オペについては、入札日や決定会合の日程を考慮すると見送られる公算が大きい。CP市場は、7月下旬に入り、ここからの事業法人の発行動向が注目される。また、21日の決定会合の結果次第では、CP市場にも変化が生じる可能性があり、動向が注視される。

主要なイベントは、国内では20～21日に日銀金融政策決定会合、21日に経済・物価情勢の展望、22日に6月の全国消費者物価指数、海外では19日に6月のユーロ圏消費者物価指数改定値、20日に6月の英消費者物価指数、21日にECB定例理事会などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。